

へいせい ねん ど だい かいかわさき く く みんかい ぎ せんもんぶ かい てきろく  
平成26年度第4回川崎区区民会議専門部会摘録

にち じ へいせい ねん がつ にち すい ご ご じ ぶん  
日 時：平成26年11月19日（水）午後1時00分

ば しょ えり あとうきょう とうきょうりんかいこういきぼうさいこうえん  
場 所：そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）

しゅつせきしゃ けいしやうりやく  
出席者（敬称略）

いいん めい  
委員 6名

あかまやすお あらいと き こ とむらまさふさ のせはるみ ほらちよこ はらだあゆむ  
赤間靖夫、新井トキ子、戸村正房、埜瀬晴美、原千代子、原田歩

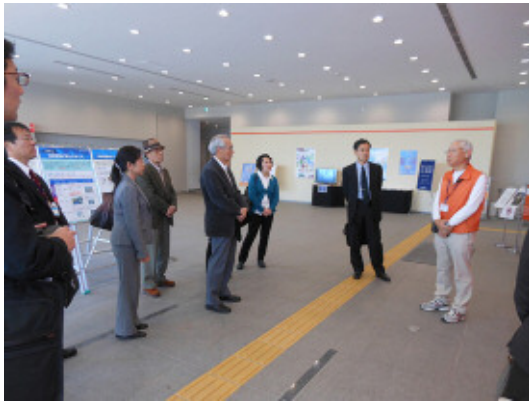
1 しかつ がいよう  
視察の概要

- 第4回専門部会では、審議課題の分野である「防災」に関する施設の視察を行いました。視察先は、防災体験学習施設のある「そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）」です。
- 「そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）」では、地震発生後72時間をどう生き残るかをテーマとした体験学習ツアー「東京直下72h」を実施しています。
- 本視察では、はじめに、体験学習ツアー「東京直下72h」を体験しました。
- 体験学習ツアー「東京直下72h」では、デパートのエレベーターの中で、マグニチュード7.3、最大震度6強の首都直下地震が発生した設定で、発災から避難場所まで移動します。
- 入口で渡されたニンテンドーDSを使い、実際に被災した街並みを模したフロアを歩きながら、画面に出される防災に関するクイズに答えて避難場所へ進みました。
- 体験学習ツアーを体験した後は、外出先で大地震にあった姉弟が数々の困難を乗り越えて帰宅するまでを描いた映像「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」や防災や災害に関する展示を見たり、災害が起きた時に実際に災害対策本部として使われるオペレーションルームを見学したりしました。

えり あとうきょう とうきょうりんかいこういきぼうさいこうえん  
そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）について

- 「そなエリア」とは、そなえる+エリアの造語で、「ここでの体験と学習を通じて、“災害をイメージする力”と“対応力”を身につけることで、災害への備えにつながる場所」を意味しています。
- 東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災の支援基地となる防災拠点施設です。

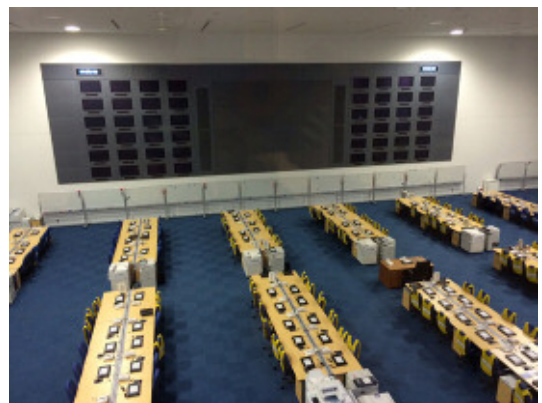
## 2 視察の様子



たいけんがくしゅうつあーせつめい う ようす  
体験学習ツアーの説明を受ける様子

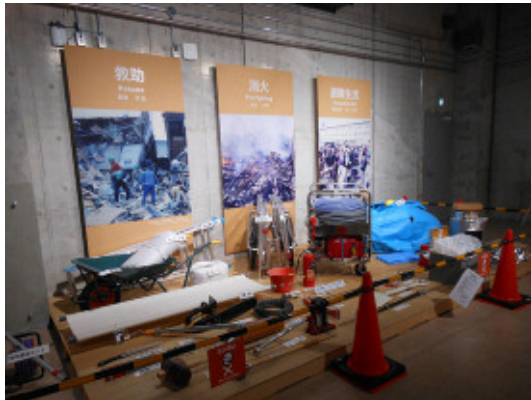


ひさい しがいち ふろあ にんてんどーつか くいず こた ようす  
被災した市街地のフロアでニンテンドーDSを使ってクイズに答える様子



ぼうさい さいがい かん  
防災や災害に関する  
映像を見る様子

じっさい さいがいたいさくほんぶ つか  
実際に災害対策本部として使われる  
オペレーションルーム



さまざま てんじ ようす  
様々な展示の様子



とうきょうりんかいこういきぼうさいこうえん ようす  
東京臨海広域防災公園の様子

ごごじ ふんかいさん  
午後2時30分散

いじょう  
(以上)